

特集

令和元年度決算状況

詳 財政課 回(32)6212

令和元年度決算の結果は、財政健全化法に基づく4指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回りました。また、資金不足比率においても、全ての会計で経営健全化基準を下回りました。引き続き、健全な財政の維持に努めていきます。各会計の決算概要をお知らせします。

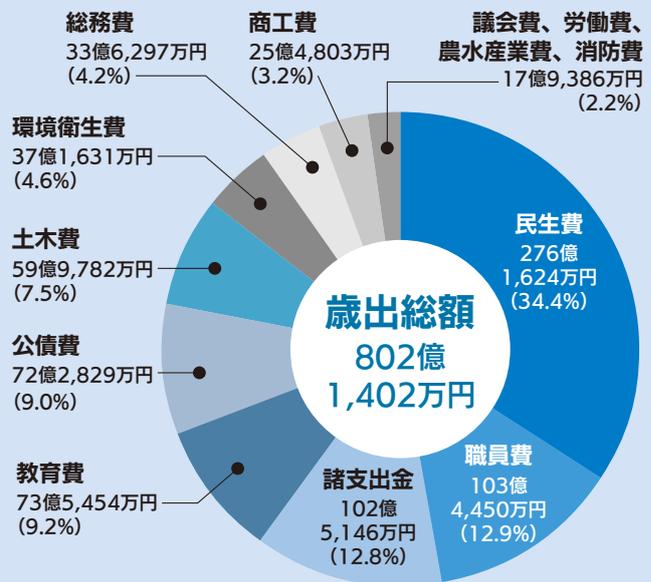
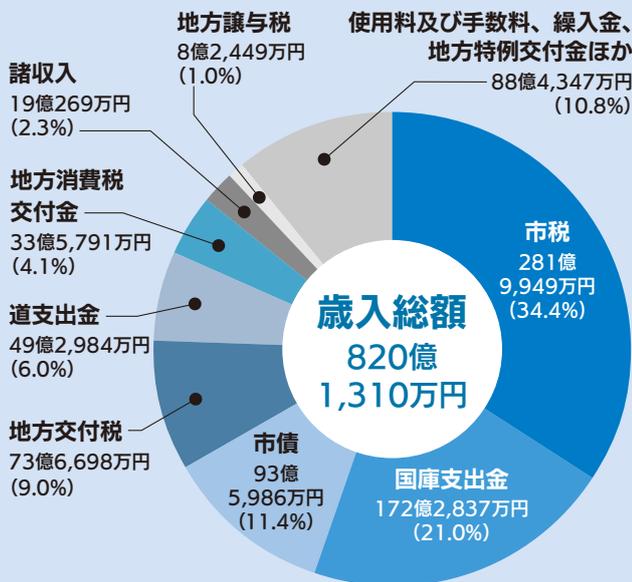
一般会計の決算状況

一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。

歳入（年度中の収入）の総額は820億1,310万円で、前年度に比べ17億5,898万円（2.2%）増加しました。歳出（年度中の支出）の総額は802億1,402万円で、前年度に比べ17億1,637万円（2.2%）増加し、差引額17億9,908万円の黒字になりました。

これは、歳入のうち市税が6億4,116万円（2.3%）増となったことや地方交付税が4億3,309万円（6.2%）増、市債が3億9,835万円（4.4%）増となったことによります。

歳出のうち、主要事業費は総額191億9,106万円で、今後のまちづくりに必要な事業である道路・公園の建設・改修をはじめ、苫小牧東小・中学校改築や消防署日新出張所庁舎建て替えなどを行いました。また、毎年度経常にかかる経費については、扶助費が増加しました。



市民1人当たりの決算額

■市税負担額 165,340円 (4,439円増加) ■使われた経費 470,312円 (11,998円増加)

主な内容

- 扶助費 [福祉の充実に] 139,379円 (7,246円増加)
- 人件費 [職員の給与などに] 56,586円 (1,158円増加)
- 公債費 [借入金の返済に] 42,381円 (476円減少)
- 投資的経費 [施設建設などに] 67,978円 (2,928円減少)

※金額は一般会計の決算額を令和2年3月31日現在人口170,555人で割ったもの（ ）は対前年度比